

潮音寺だより

〈ホームページ〉 <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

第295号
平成20年5月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856
E-Mail:choonji@aichi.email.ne.jp

〒456-
0034 名古屋市熱田区伝馬1-10-11



撮影：超空正道

和光同座

【出典】『老子』第四章
「其の光を和らげ、其の塵に同じくす。」

仏さま
菩薩さまは

われわれの前に
光り輝き

現れるのでは
ありません

身にまみれ
埃にまみれ

われわれと
同じ姿で

身元を明かさず

ごく
身近く

さりげなく
おわします

和光同塵

「老子」と云へ、中国の思想家を
ご存じかと思います。伝説によれば、
およそ五百年前の楚の人。
周の図書館の図書をついめていた。

老子が出ていて、礼の教説を受け
た」ともあつた。あるとき周の国
勢が衰えるのを感じ、牛の背に
乗つて西方に向かつた。途中の関
所で、関守の尹喜の頼みを受けて
書き残したのが『老子』上下巻(五
〇〇〇余字)であるといつて。上下巻
の最初の一字「道」と「徳」を取つ
て『道德經』または『老子道德經』
とも呼ばれる。その後、老子は関を
出で、その終わりを知るものはい
ない。……

ただ、この伝記には錯誤があると
ころより一〇〇年ほど後であると
する説や、その実在そのものを否

定する説もあり、その上は、老子が
西方(インド)の地で祭祀しなかつたし
仏教を興したといつて(老子化胡
説)まであり、要はおもつねつめり
してしません。

しかし、かく不確かな人物では
ありますか、「道」の思想(道家を
代表する人物として、儒家の孔子
と並び位置にあるのは動かしがた
い事実です)。

そして、仏教の「徳」と老子の
道家思想の「道」には類似点がある
ため、仏典が漢訳される時、道家思
想の用語が訳語にあてられたり、
道教の教団化にあたって、仏教の
教団組織が参考されたたりするなど、
仏教と道家思想は少なからず影響
しあつてきただといつて経緯がありま

す。

ナレーター(回、表題の「和光同塵」)

につづいていみれば、次によつ
ます。故事成語辞典によれば、次によつ
にあります。

①四分の道德や才能を包み隠し
て、俗中間に交わらずむ。」と。
『老子・第四章』に「其の銳を挫き
其の粉を解き、其の光を和らげ、其
の塵を回旋する」とあるのに基づ
く。

②仏・菩薩が知徳の光を露し、煩
惱の塵にまみれて衆生を救ひ」と。
仏・菩薩が人間界に仮の姿を現す
ことを意味。

では、この「和光同塵」を、自分
の人生の中で、どう生きれば良い
のかどうか」と云つて考えてみ
ましよう。ただ、『老子』は、四百
字詰原稿用紙にして十三枚程度で
はあります、難解で門外漢の私
には手に負えませんので、仏教中

心に述べやせしにただれまお。

能動的態度と致動的態度の一つ

に分けて考へまお。

まあ、能動的態度、生れか、スタンスとしてあるが、されば、法然上人の言葉を借りれば、「一枚起請文」における「たどり一代の法をよくよく承りひか、「丈不知の愚鈞の鳥になし」と云ひ、「ありま

したよつな諦」、「能ある鷹は仄隠す」とか、「奥のほう頭を垂れる稻穂かな」などがあつまつが、宗教的見地から云ふれば、「隠す」「押し殺す」にはまだまだ、「身のぬ我が身への猛省」「懸の田寛」「懺悔」までいかないし本物にはなつません。

「上味僧は味僧臭くなつ」と云ふまわし、学者臭・坊さん臭・役人臭なんて云つのがあるか云つて分か

りませんが、それらしい臭いを放つてゐるよりでは、本物ではな

いといふにいづ。

次に、致動的態度、身の置か方、主に対する関係におけるすべて

きかを考えます。

結論からいへば、自分と相対する人、すなわち父・母・夫・妻・兄弟、子供、友・敵、そして、時には動植物、自然界すべてがありあるものは、私一人を教化するため、観音菩薩が姿を変えて、私の眼前に現れ出でたりむとの認識を持つ

じとあります。

『法華經』「觀世音菩薩普門品第二十五」(觀音經)、「觀音菩薩はあまねく衆生を救つたために、相手に応じて、二十二の姿に変身する」と説かれてはまお。つまり、觀音菩薩は、世を救済するたために、広く衆

生の機根(仏道の教えを聞いて修行しうる能力)に応じて、種々の形体を現げぬしてのじる。

ですから、妻は夫を、夫は妻を觀察対する人、たゞいは嫁姑同士では、ともかくも相談などいわれるかもしません。ただ、いざ取り違えまいようにしていただいたいのは、迎合して仲良くなれといつてはならないのです。

仏法には、諸法実相として教えがあります。すべての世に存在するもの、現象は、それが重要な意義を持つてゐる、無駄といつては何一つない、觀音やまが、私に眞実の教えを宣せんべからつて云ふのだ、」、その認識がいづが肝要なのだけ。

五穀 1111V

仏教には「飲食」といってはが
ある。欲の対象としての飲料や食
物との意味のほかに、花や香、燈
明などともに仏に供される供物の
一つ。

祭祀は生前中は、毎日とてて
いそむく食事に招かれたといつ。
つまりは「飲食供養」されたのだ。

また出立(僧)が常食するものと
しては、五正食(または五臘食)と
五不正食(または五臘食)と決めら
れていた。(つまり前者は、五種の料
理された普通の食物(飯、麦ご飯、
肉、餅など)であつて、後者はよくか
んで食べる食物五種(根、茎、葉、
花、果)であった。

この五食が、やがて護齋に五
穀を供える習慣へとつながる。「五
穀」とは大麦、小麦、米、豆、胡麻

(ほかに山芋、粟、きび、稗)といつ説
もある)。この五穀は、人間の五つ
の煩惱(貪=むねばつ、瞋=いか
り、癡=おろかさ、慢=おもひ、疑
=惑ひ疑ひ)のシンボルであり、そ

のため火に投じられ清められるの
だ。(仏教のことは)早わかり事典
のため火に投じられ清められるの
だ。『仏教のことは』早わかり事典

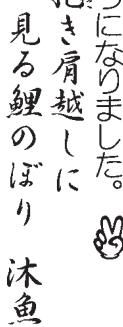


▼阿弥陀堂寄進

先月号で、京都本山の阿弥陀堂
の改修工事に伴つて、寄進の募集を
お願いいたしましたが、4月18日
現在、次の方々から応募がありました。
感謝申し上げます。



- ・伊藤八重子様 一円円(一〇)
- ・飯田丈一様 一万円(一〇)
- ・木田恵子様 一万円(一〇)
- ・中川精一様 一万円(一〇)
- ・橋下賢鶴様 一万円(一〇)



◆孫抱き肩越しに 見る鯉のぼり 沐魚

なお、申込締切を四月末日とし
ておりますので、宜しくお願ひ
いたします。

▼北京五輪

チベット問題で、あれいかの聖
火リレーが正常運行できなくなつ
ています。日本でも、善光寺が式典
会場の辞退をしました。いろいろ
な原因があるのでしそうが、今、世
界が病んでいる、一つの現象なの
かも知れません。真美、平和の祭典
になれるよう、願いたいものです。

▼プロシタ

当山の掲示板用に、大型プリン
ターを導入しました。価格 1/10
以下の中古品ですので、いくつか
部品を調達交換して、無事、快調に
動くようになりました。